人工じん部
Department of Artificial Kidney

詳細はこちら

部長
うちだ　じゅんじ
内田　潤次



専門
腎移植、泌尿器腫瘍、一般泌尿器

スタッフ

ながぬま　としひで
副部長　**長沼　俊秀**
【専門】 血液浄化療法、バスキュラーアクセス、アフェレシス療法

業務内容・特徴

腎不全患者に対する血液透析・オンライン血液濾過・血液濾過透析療法を中心に、腹膜透析療法の導入・管理、種々の疾患に対するアフェレシス治療業務を行っています。

膠原病および神経疾患に対する血漿交換療法・選択的血漿交換療法（SePE）・免疫吸着療法・DFPP 療法など高度な体外循環療法を行っており、皮膚科疾患や潰瘍性大腸炎およびクローン病に対する血球除去療法なども積極的に行っています。SePE 療法では IgG を中心にした病因物質を除去することが可能で人血漿の使用量を減少させることのできる低侵襲な治療法であり積極的に行っております。最近は、心臓血管外科手術を受けられる血液透析患者が増加してきており、その術前後の不安定な時期の血液透析治療を如何に安全に行うかということを目標にして、循環動態を安定させるために積極的にオンライン血液濾過透析療法を施行しています。

生体腎移植については夫婦間での移植数の増加に伴い血液型不適合腎移植症例が増加しています。人工腎部では DFPP 療法･血漿交換療法（遠心分離血漿交換も含む）・SePE 療法を用いて治療を行うことで、積極的に血液型不適合腎移植をサポートしています。また、適切な治療を提供することに努めております。

主な診療実績

内シャント作製術	64 件	CAPD チューブ挿入術	4 件
経皮的血管拡張術	144 件	CAPD チューブ抜去	5 件
人工血管植え込み術	4 件	手根管開放術	0 件
人工血管抜去術	1 件	ばね指根治術	0 件
シャント瘤	0 件	動脈表在化	1 件
内シャント閉鎖	3 件	ステントグラフト	4 件
副甲状腺摘出術	0 件	カフ型カテーテル	5 件

輸血部
Department of Transfusion Medicine

詳細はこちら

部長
うちだ　さわこ
打田　佐和子



専門
内科学、肝胆膵疾患、輸血学

スタッフ

なかいえ　きよたか
保健副主幹 **中家　清隆**
【専門】 輸血部管理業務

かわはら　ひろえ
主査　**川原　宏恵**
【専門】 輸血専任技師、輸血部管理業務

業務内容・特徴

輸血療法を必要とされる患者さんに対して安全な血液製剤を迅速に供給するため、輸血関連検査、輸血用血液製剤とアルブミン製剤管理業務および移植医療補助業務を行っています。また、自己血採血補助業務および管理業務を行っています。その他、細胞治療薬管理業務や輸血後のフォローのため、輸血副作用管理および製剤の使用記録保管を行っています。血液型および不規則抗体検査は全自動輸血検査装置を用いて迅速で正確な結果報告を行っています。血液型検査においては、亜型検査の精度を高めるため遺伝子検査を導入しています。また､特殊検査として､HLA 抗体検査、血小板抗体検査を行っています。

大学病院輸血部として、研究・教育の面でも大きな役割を担っています。当院医学部生、研修医教育はもちろん、他施設の臨床検査技師養成学校および大学の学生に対しての教育施設となっています。また、日本輸血・細胞治療学会の輸血認定医、認定輸血検査技師および学会認定輸血看護師についての研修認定施設となっており、毎年、全国の受験希望者の研修を受け入れ、今後の輸血医療を担う医療者の教育に貢献しています。

＜年間製剤件数＞
赤血球製剤：14929 単位、血小板製剤：28745 単位、新鮮凍結血漿：9135 単位、5%アルブミン：49225 グラム、20% アルブミン：58430 グラム

＜年間検査件数＞
血液型検査：17024 件、不規則抗体検査：16591 件、交差適合試験：6755 件、HLA タイピング検査：292 件、HLA 抗体検査：544 件